

和佐谷町タウンミーティング

2018. 5. 21 (月) 19 : 30 ~ 21 : 30

和 佐 谷 町 公 民 館

○参加者：和佐谷町民 10 名 その他 2 名

○議事録

【和佐谷町副会長あいさつ】

- 昨年に引き続き開催していただき感謝している。
- 和佐谷町は高齢化してきており、人も少なくなってきたり課題も多い。
- 要望に応じてもらって感謝している。
- 忌憚のないご意見を言っていただき、TM を町の発展に役立てたい。



【市長あいさつ】

- 市政方針、平成 30 年度主要施策、昨年度の TM を受けての施策への反映について説明

【座談会】

1. 高齢者福祉について

(町民)

- 和佐谷町では老々介護が 5 年後 10 年後に問題になってくる。雪も多く若い人が出て行っている。高齢者支援センターがあるが遠くて行けない。近場に健康づくりができる場があればいいと思う。
- 高齢者が集まれる場所ということでいきいきサロンを始めた。しかし、公民館は古く、段差もあるため、行けないというので、抱え上げるなどして開催している。なんとか開催しているが、集まれる場所・環境を整えてほしい。

(市長)

- 公民館の改修をするのには地元にも負担してもらわなければならない。どうしていくべきか町内で相談してほしい。どうしたいか決まったら市に相談してほしい。

(町民)

- 今年は雪がひどく、デイサービスの車も入れず、安否確認も大変だった。融雪をつけてほしい。

(市長)

- 融雪装置には地下水が必要であり、その地下水があるかどうか調査する。連絡する。

2. 健康診断・地域医療について

(町民)

- 高齢者が多く健診会場まで行けない。受ける人数が少ない（5人以下）から、近くの会場では実施しないと言われた。人数に関わらず、近くの会場や鶴来の病院で受診できるようにしてほしい。

(市長・次長)

- いきいきサロンで13人ほど参加者がいると聞いている。それに合わせて受診することを考えてはどうか。市外の病院で受診できるように県などに要望している。

3. 公共交通

(町民)

- 免許を返納してしまうと不便。足が無くなってしまう。
- 今は身内が送迎しているが、今後はそれも難しくなる。
- 生活圏が鶴来なので鶴来へ行くバスがほしい
- 岩本町民はJAISTのバスを利用している
- 乗合タクシーの運行・補助を考えてほしい。

(市長)

- 公共交通については今年1年かけて、実証実験を行い、どれくらい使ってもらえるかなど調査する。
- タクシーについては必要な人たちで乗り合わせることや、町内の人が送迎することも考えてほしい。
- 市がどのような支援をすべきか参考にするので、町のなかでどんなニーズがあるのか話あって、市へ教えてほしい。

4. 生活道路

(町民・市議)

- 橋の改修が完了するのは平成30年中と聞いているが、どうなのか。
- 工事期間中は通行止めになるようだが、工期はどれくらいか。

(市長)

- 平成30年度中に完成予定である。確認して報告する。現在、改修に必要な材料の選定をしている所である。
- 4〜5か月かかる。その間通学の際に利用できなくなるので、保護者による送迎のご協力をいただくことになる。

5. 水路整備

(町民)

- 昔から町に流れる水量が不足しており、改善を望む。

(市長)

- 排泥ポンプを設置する予定にしている。農政課が説明しに行く。

6. 道の駅しらやまさん

(市長)

- 指定避難所になっており、避難所が開設されるときには市から管理者に連絡して鍵を開けることになっている。災害時の対応については危機管理課が説明しに行く。

7. 地域振興・移住定住

(町民)

- 市全体でも人口が減る予測なので、和佐谷も確実に減少する。見捨てられてしまうのではという心配がある。
- 和佐谷は金沢にも近く、海も山も川も近く本当に素晴らしいところであるので移住してきた。和佐谷町の人はその魅力に気づいていない。もっと意見交換の場を設けるべきである。道の駅しらやまさんも活用できないか。

(市長)

- 移住定住に関するパンフレットを作成する予定である。和佐谷町も紹介するので住んでいる人たちで知恵を出し合ってほしい。

【和佐谷町会長あいさつ】

- 開催に対するお礼
- 和佐谷橋改修事業着手、土砂災害対応に対するお礼
- 高齢化社会の中で、帰ってきてもらえる和佐谷町のまちづくりに支援をお願いしたい